

○北杜市青年小屋及び権現小屋条例

平成17年12月16日

条例第225号

(設置)

第1条 山岳登山者の安全確保と遭難防止等の拠点とするため、八ヶ岳に青年小屋、権現小屋及び避難小屋（以下「山小屋」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 山小屋の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
青年小屋	長野県諏訪郡富士見町字広原編笠岳国有林1315
避難小屋	長野県諏訪郡富士見町字広原編笠岳国有林1315
権現小屋	北杜市小淵沢町10066

(管理)

第3条 山小屋の管理は、市長が行う。

(職員)

第4条 山小屋に必要な職員を置くことができる。

(休業日等)

第5条 山小屋（避難小屋を除く。）の休業日は、設けないものとする。ただし、市長が必要があると認めるときは、臨時に休業することができる。

2 避難小屋は、青年小屋の臨時休業時のみ利用できるものとする。

(利用の許可)

第6条 山小屋（避難小屋を除く。）を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、その利用が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可を与えないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、施設の管理上支障があると認められるとき。

(利用の制限)

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命ずることができる。

(1) 前条第1項の許可を受けた者が許可を受けた利用の目的に違反したとき。

(2) 山小屋を利用する者（以下「利用者」という。）がこの条例又はこの条例に基づく規則若しくは市長の指示した事項に違反したとき。

(3) 利用者が不正の手段によって許可を受けたとき。

(4) 天災地変その他の避けることができない理由により必要があると認められるとき。

(5) 公益上必要があると認められるとき。

(6) 前各号に掲げる場合のほか、施設の管理上特に必要と認められるとき。

2 前項の規定により許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命じた場合において利用者に損害が生じて、市長はその賠償の責めを負わないものとする。ただし、前項第6号に該当する場合は、この限りでない。

(使用料)

第8条 利用者は、市長に山小屋（避難小屋を除く。）の利用に係る使用料（以下「使用料」という。）を納付しなければならない。

2 使用料の額は、別表のとおりとする。

3 避難小屋の利用については、無料とする。

(使用料の減免)

第9条 市長は、公益上必要があると認める場合は、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

第10条 既納の使用料は、還付しない。ただし、利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第11条 山小屋の管理は、第3条の規定にかかわらず、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

2 前項の規定により山小屋の管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て休業日を変更し、又は臨時的に休業することができる。

3 第1項の規定により山小屋の管理を指定管理者に行わせる場合は、第6条及び第7条の規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第12条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるものとする。

- (1) 山小屋（避難小屋を除く。）の利用の許可に関すること。
- (2) 山小屋の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、山小屋の運営に関して市長が必要と認める業務

(利用料金)

第13条 第11条第1項の規定により、山小屋の管理を指定管理者に行わせる場合は、第8条第1項の規定にかかわらず、利用者は、指定管理者に山小屋の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を支払わなければならない。

2 利用料金は、別表に掲げる額の範囲内で、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て利用料金を定めるものとする。この場合において、別表の規定中「使用料」とあるのは、「利用料金」と読み替えるものとする。

(利用料金の収入)

第14条 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

(利用料金の減免)

第15条 指定管理者は、公益上必要があると認める場合は、あらかじめ、市長の承認を得て利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の不還付)

第16条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

(損害賠償)

第17条 利用者は、故意又は過失により施設を汚染し、又は破損した場合は、市

長が原状に復するに必要と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第18条 この条例に定めるもののほか、この条例に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月15日から施行する。

(小淵沢町の編入に伴う経過措置)

2 小淵沢町の編入の日前に小淵沢町青年小屋及び権現小屋の設置及び管理に関する条例（平成17年小淵沢町条例第18号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

3 編入日前に、小淵沢町により山小屋の指定管理者であったものは、この条例により当該施設の指定管理者に指定されたものとみなす。

附 則（平成23年7月1日条例第17号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年3月23日条例第22号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年3月10日条例第2号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月27日条例第2号）

この条例は、令和元年10月1日から施行する。

附 則（令和元年7月3日条例第2号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（令和2年6月29日条例第30号）

この条例は、令和3年1月1日から施行する。

附 則（令和7年3月19日条例第16号）

この条例は、令和7年6月1日から施行する。

別表（第8条関係）

利用区分	使用料	備考
寝具付素泊	10,000円	(1) 1人当たり1泊の料金
幕営料	2,000円	(2) 幕営料は、キャンプ指定地に幕営した者1人当たりの料金